

- 日南町は、令和元年度SDGs未来都市に選定され、その柱となるのが林業を主体とした「木育」事業であり、「日南町一貫的森林教育プログラム」を令和2年3月に策定しました。
- 「はじめてのおもちゃは、日南町産の木材を使用した木製玩具で、木のぬくもりや本町のめぐみを感じてもらいたい」との思いから、日南町一貫的森林教育プログラムでは、木製玩具の贈呈を「ウッドスタート」と位置付けています。

□ 事業内容

ウッドスタート事業

- ・ 新生児を対象に木製玩具（積木）を贈呈
- ・ 木製玩具は日南町産材を使用し、町内の木工職人が作成
- ・ 令和元年度から事業を開始し、令和5年度から森林環境譲与税を活用

【実績】 R5：贈呈数 11世帯

事業費 182千円（全額、森林環境譲与税）

R6：贈呈数 17世帯

事業費 298千円（全額、森林環境譲与税）



贈呈した木製玩具（積木）



贈呈式の様子

□ 取組の背景

- ・ 日南町教育大綱（2020年4月策定）の基本理念として「持続可能な未来を創る 笑顔で生きる人づくり」としており、日南の豊かな資源を生かした多様な教育の機会の創出を謳っている。
- ・ 基本理念に基づき、「木育」を柱とした日南町一貫的森林教育プログラムが策定され、新生児の誕生を「ウッドスタート」と定めた。

□ 工夫・留意した点

- ・ 日南町産材の木材で玩具を作成することで、日南町の自然に親しみを持っていただけるようにした。
- ・ 玩具の作成は町内の木工職人に委託し、玩具のデザインにその工房の特徴を加えることで、町内で作成されたことが視覚的に伝わるようにした。

□ 取組の効果

- ・ 贈呈する新生児だけではなく、その両親にも木材利用の促進等の普及啓発効果が期待できる。
- ・ 幼いころから木材に触れることで、町の面積の大半を占める森林や主幹産業である林業への関心の増加が期待できる。